

2024(令和6)年 9月 18日

報道関係者 各位

松 山 大 学
(全 2 枚送信)

松山大学法学部学術講演会 開催

9月23日(月) 18時30分より ラインハルト・メーリング教授が講演

松山大学は、2024年9月23日(月)に法学部学術講演会として、カール・シュミットの伝記研究で著名なラインハルト・メーリング教授をお招きし、「Das Licht des „Ausnahmestands“. Grundzüge von Carl Schmitts Verfassungslehre」と題して講演会を開催いたします。ぜひ、ご取材ください。

開催概要

日 時 : 2024年9月23日(月) 18時00分~19時30分

会 場 : 松山大学 8号館 2階 821教室

題 目 : Das Licht des „Ausnahmestands“. Grundzüge von Carl Schmitts
Verfassungslehre

講 師 : Reinhard Mehring 氏(ハイデルベルク教育大学教授)

参 加 者 : 学生・教職員・一般の方

講演概要 :

カール・シュミットの伝記研究で著名なラインハルト・メーリング教授をお招きし、自由主義と民主主義の区別および、ワイマール共和国の文脈における規範と「例外状況」の区別に関するシュミットの議論について、初学者向けにわかりやすく解説していただき、これら議論の今日的なアクチュアリティについて共に考えてみたい。「緊急事態」条項が取り沙汰されている国内政治の文脈においても、ウクライナやガザをはじめとする危機状況が連鎖している国際政治の文脈においても、1920年代~30年代にかけての危機の時代を振り返る試みは、時宜を得たものといえるだろう。

松山大学法学部教授 遠藤 泰弘(コーディネーター・通訳)

講師紹介



ラインハルト・メーリング教授

略歴:1959年ドイツ・デュッセルドルフ生まれ、ボン大学・フライブルク大学で哲学・ドイツ文学・政治学を専攻、デュッセルドルフ大学、ヴュルツブルク大学、ベルリン大学で研究員・助手・講師などを経て、2007年よりハイデルベルク教育大学教授

著書— Carl Schmitt. Aufstieg und Fall. Eine Biographie, Beck-Verlag, München 2009, 743 S. (englische Übersetzung Polity Press 2014)

共編著—Der Staats- und Völkerrechtler Carl Bilfinger (1879-1958). Dokumentation seiner politischen Biographie, Nomos-Verlag, BadenBaden 2024 他多数

※取材いただける場合は、9/20(金)15時までに下記連絡先までお申し込みください。

※駐車場の利用をご希望の場合は、取材申し込み時にお申し出ください。

<開場案内>

